

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名:低温センター

| | | |
|---------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| 【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価 | 【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価 | 【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定 |
| A | A | A |

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

| 項目 | 評定 | コメント(評定に至った主な理由) |
|----------|----|--|
| 【教育】 | A | 平成29年度計画の達成状況が良好である。 |
| | | 助教2名で活動する中で、目標値を上回る5編の論文を発表し、そのうち1件は日本鉄鋼協会澤村論文賞を受賞したことが評価できる。 |
| 【研究】 | A | 平成29年度計画の達成状況が良好である。 |
| | | |
| 【社会貢献】 | A | 平成29年度計画の達成状況が良好である。 |
| | | |
| 【グローバル化】 | A | 平成29年度計画の達成状況が良好である。 |
| | | |
| 【業務運営】 | S | 平成29年度計画の達成状況が優れている。 |
| | | 平成27年度末に更新された豊中のヘリウム液化装置で2割～3割使用電力量が減少していることから、大学全体としての節電に貢献したこと、吹田分室のヘリウム液化・回収システムについて、平成28年度国立大学法人先端研究等施設整備費補助金での予算が認められ、更新工事を経て平成29年度末に稼働させたことが評価できる。 |

【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

【評価コメント】

科研費応募件数について、積極的な応募に努めていることが認められる。
また、共同研究・受託研究の受入、公開講座等の実施について、これまでにない実績を上げたことが高く評価できる。